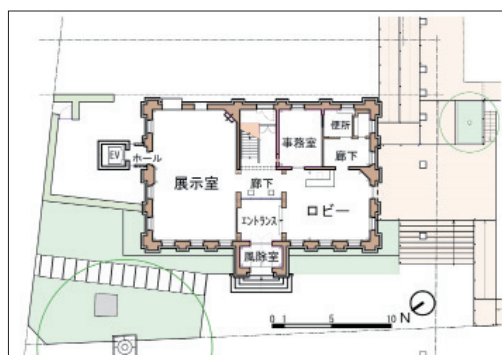


サッポロビール旧九州工場の移転に伴い、大正以来この地でビール製造の歴史を後世に残すため、鉦宰レンガ積みの本事務所をビール会社がビール資料館として整備し、北九州市に寄贈した。プロポーザルを経てアプルが特定され、保存修復とミュージアムへの活用のための設計監理を担当した。保存・改修工事にあたっては、耐震改修促進法に基づき、(財)日本建築防災協会により耐震診断と耐震補強工事の評価を得ている。既存の鉦宰レンガ躯体のエポキシ樹脂による補修と補強を行い、建物全体の外観については竣工当初の姿への復元に努め、中央の階段室やマントルピース、天井に残る金属パネル等、歴史的意匠として価値の高い装飾は極力保存した。竣工後、市に引き渡され、「北九州市門司麦酒記念館(帝国麦酒門司工場事務所)」と命名された。



門司麦酒煉瓦館＝旧事務所棟の正立面図



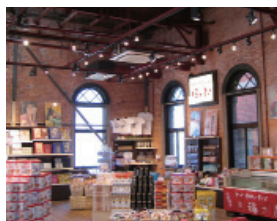
麦酒煉瓦館の1階平面図



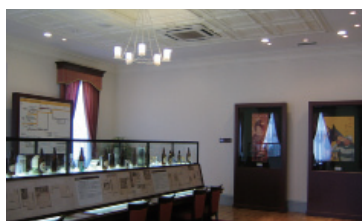
修復された正面外観



麦酒煉瓦館の屋上パラペット部の復元・補強



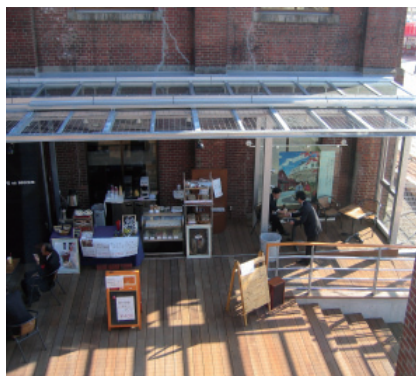
麦酒煉瓦館の1階ミュージアムショップ



麦酒煉瓦館の2階展示スペース



門司麦酒煉瓦館と醸造棟の外観



醸造棟との棟間広場のカフェ門司

経緯 サッポロビール旧九州工場本事務所記念施設設計者選定プロポーザル'02.6 / サッポロビール旧九州工場本事務所記念施設調査設計監理'02.7～'05.3
諸元 所在地:北九州市門司区 原設計:関根要太郎 (旧帝国麦酒事務所棟・1913 [大正2] 年竣工～サクラ麦酒～サッポロビールへ)、構造:主体構造-組構造(鉦
宰レンガ化粧積み)、屋根-鉄骨造 階数:地上2階、建築面積:231.91㎡ 延床面積:468.29㎡ 施工:若築建設(株)(レンガ補修協力・中国富士化工建設(株))、目的:
用途変更 大規模な模様替(主要構造の耐震補強工事) 協力 構造:TIS&Partners 設備:新日本設備計画 担当 萩原、吉田、萩尾、江口、松尾、矢島